

請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

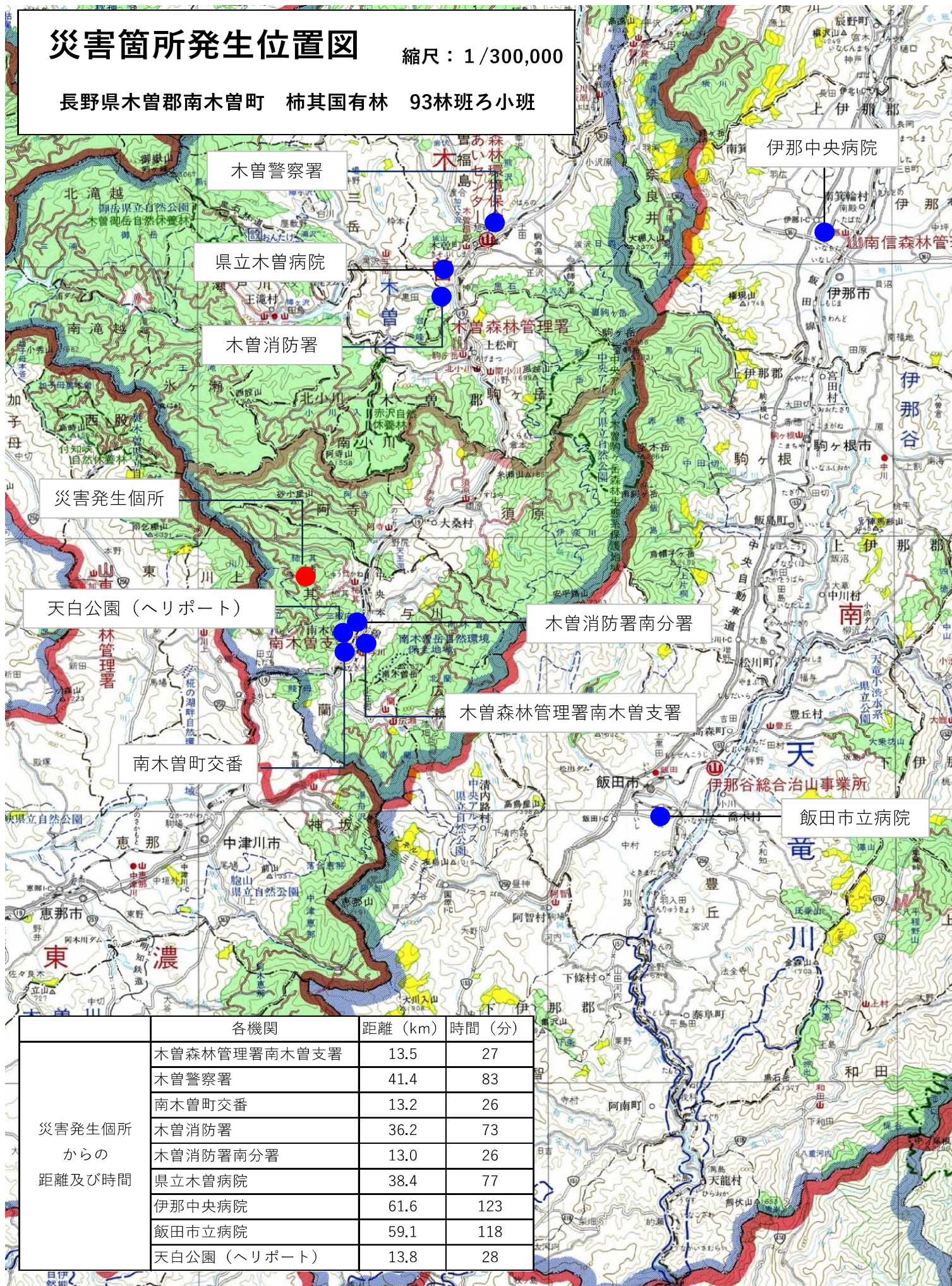
1 署 等 名	中部森林管理局木曽森林管理署南木曽支署
2 事業の種類	国有林治山事業（岩倉沢（タルガ沢）復旧治山工事）
3 災害発生日時等	令和7年5月8日（木） 11時00分頃 発生 怪我の程度：左前腕伸筋群断絶 休業見込み：未定（10日間入院し、退院後は通院治療予定（リハビリ含む））
4 災害発生場所	長野県木曽郡南木曽町 柿其国有林93ろ林小班
5 契約相手方	株式会社 名工土木 代表取締役 大沢謙一
6 事業実行事業体	同 上
7 被災者年齢等	年齢：55歳 性別：男 2の事業の経験年数：1年未満 雇用区分：期間雇用 社会保険等加入状況：(労災) 雇用、(健康) 厚生、中退
8 従事作業	支障木伐倒補助作業
9 災害概況	当日、被災者は同僚4名（現場代理人、同僚A、B、C）と事業現場に入り、現場代理人から作業指示を受け、8時30分頃から、工事支障木の伐倒処理を行う同僚B、Cの補助作業（小径木刈払い等）に従事し、現場代理人は林道上の事務所周辺整備、同僚Aは作業全体管理（被災時は資材確認のため一時的に林道付近に移動）にそれぞれ従事した。 11時00分頃、被災者は法面（傾斜約40度）で電動チェーンソーにより小径木（1cm程度の雑木）の刈払いを行っていたところ、足を滑らせ転倒し、その際に左手が前ハンドルから離れてしまい、ソーチェーンが左前腕上部に当たり被災した。 約8m先で作業をしていた同僚Bが、転倒した音とチェーンソーの回転する音を聞き、被災者の方を見ると倒れていたため、駆け寄ったところ、本人からケガをしたとの報告があった。 被災者は出血があったが、意識もあり会話も可能であったため、持っていたタオルで切創箇所を押さえ、約70m上方にある林道まで自力で歩行した。同僚Bは途中まで被災者を補助し、その後、林道上で作業をしていた現場代理人及び同僚Aに被災を報告した。 現場代理人は会社への報告、救急車両の手配のため携帯電話の受信可能位置へ車両で移動した。被災者は現地で応急処置（左腕上腕部圧迫止血）の上、同僚Cの運転する車両により林道ゲートまで移動した。 林道ゲートで救急車両と合流し、応急手当を受けた後、救急隊員の判断により救急ヘリで飯田市立病院（飯田市）へ搬送するため、ヘリポートとなる天白公園（南木曽町）に向けて出発した。 12時40分頃、到着したヘリコプターに被災者を乗せ、天白公園を出発した（同僚Aは自動車で病院へ出発）。 13時05分、飯田市立病院に到着、治療を受けた。

10 その他特記すべき事項	5月8日 ・木曽警察署による現場検証。 ・南木曽支署職員2名（総括治山技術官、総括森林整備官）による現地確認。 5月9日 ・名工土木において再発防止安全対策会議等の実施。 5月12日 ・名工土木から南木曽支署に、災害概要と再発防止対策について報告。 ・再発防止安全対策会議の実施報告を受け、松本労基署から、工事再開について支障ない旨の連絡あり 5月14日 ・事業再開 5月17日 ・被災者退院（予定）
---------------	--

災害箇所発生位置図

縮尺：1/300,000

長野県木曽郡南木曽町 柿其国有林 93林班ろ小班



	各機関	距離 (km)	時間 (分)
災害発生箇所 からの 距離及び時間	木曽森林管理署南木曽支署	13.5	27
	木曽警察署	41.4	83
	南木曽町交番	13.2	26
	木曽消防署	36.2	73
	木曽消防署南分署	13.0	26
	県立木曽病院	38.4	77
	伊那中央病院	61.6	123
	飯田市立病院	59.1	118
	天白公園 (ヘリポート)	13.8	28

災害箇所発生位置図

縮尺：1/20,000

長野県木曽郡南木曽町 柿其国有林 93林班ろ小班

凡例



災害発生箇所

0 1000[m]

1:20,000

災害箇所発生位置図

縮尺：1/5,000

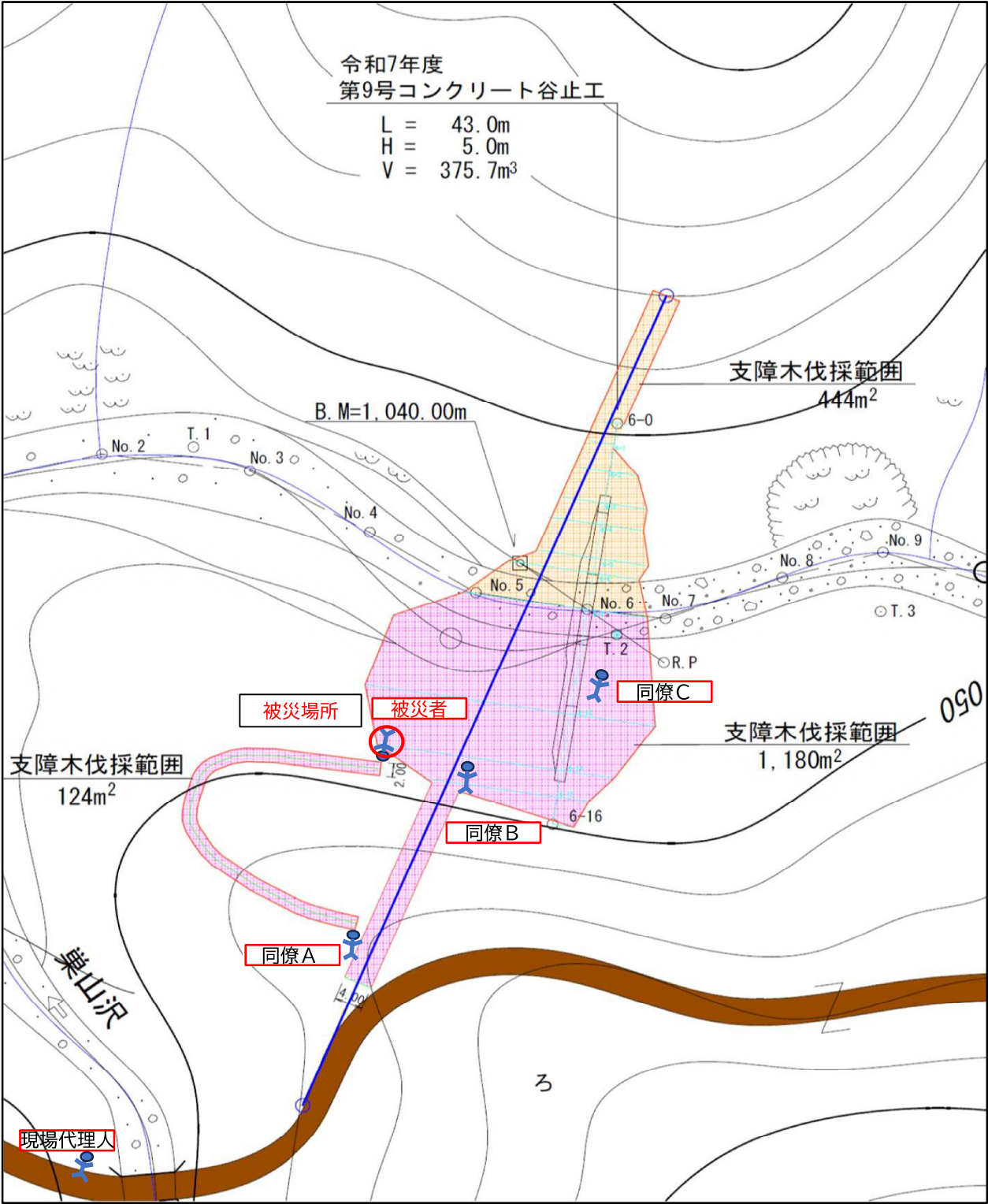
長野県木曽郡南木曽町 柿其国有林 93林班ろ小班

凡例	
被	被災者
A	同僚A
B	同僚B
C	同僚C
代	現場代理人
	林班範囲
	谷止工計画箇所

0 250[m]

1:5,000

被災位置図



災害状況写真①

【全 景】



(刈払い木)



災害状況写真②

【災害前（刈払い作業中）】



【災害後（転倒状況）】



降雨後の湿った落葉で足元が滑り転倒
左手がハンドルから離れ、ソーチェーンに接触